

3 在宅介護実態調査

要介護認定データ（※厚生労働省の自動集計分析ソフトにより認定情報と調査結果を突合して集計）

※「要介護認定データ」におけるサービス利用の集計に用いた用語の定義は以下の通りです。

■サービス利用の集計に用いた用語の定義

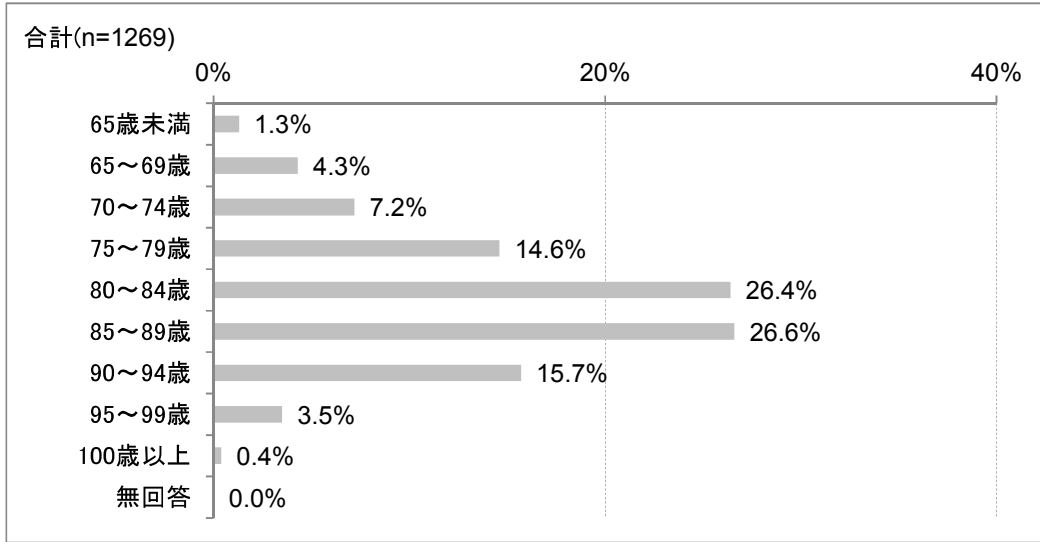
用語		定義
未利用		「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計しています。
訪問系		（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計しています。
通所系		（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計しています。
短期系		（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計しています。
その他	小規模多機能	（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計しています。
	看護小規模	看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計しています。
	定期巡回	定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計しています。

■サービス利用の組み合わせの集計に用いた用語の定義

用語		定義
未利用		上表に同じ
訪問系のみ		上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。
訪問系を含む組み合わせ		上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。
通所系・短期系		上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。

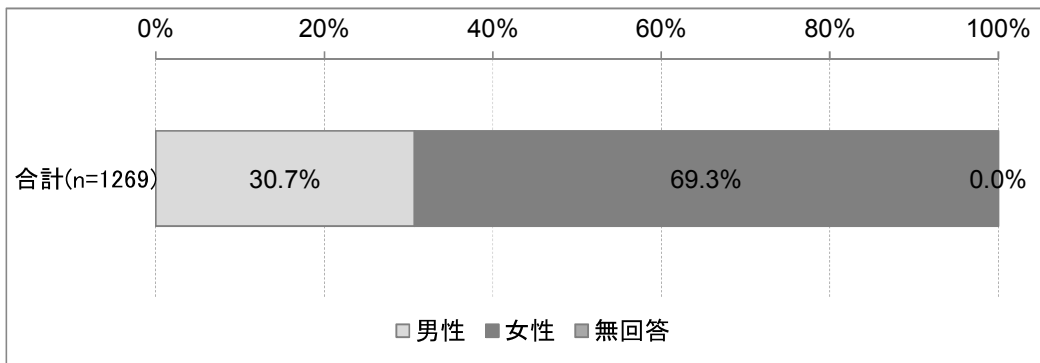
※在宅介護実態調査の有効回答は1,281件ですが、要介護認定データと調査の回答を突合できたのは1,269件であるため、「要介護認定データ」では有効回答は1,269となります。

(1) 年齢



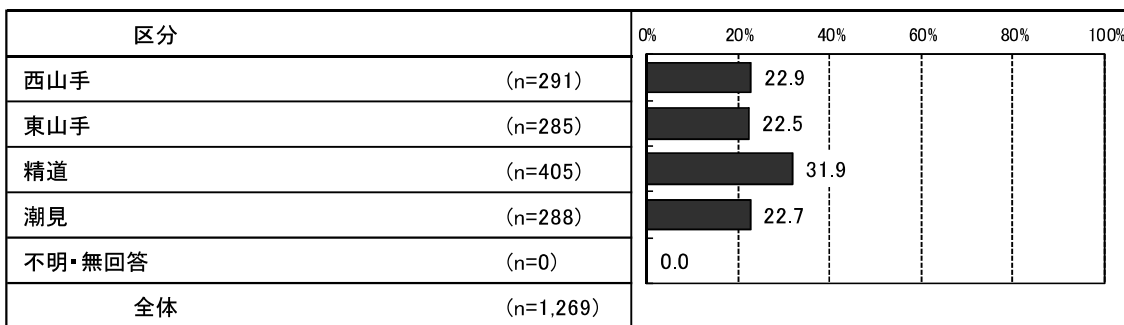
「85～89歳」が26.6%で最も多く、次いで「80～84歳」が26.4%、「90～94歳」が15.7%となっています。

(2) 性別



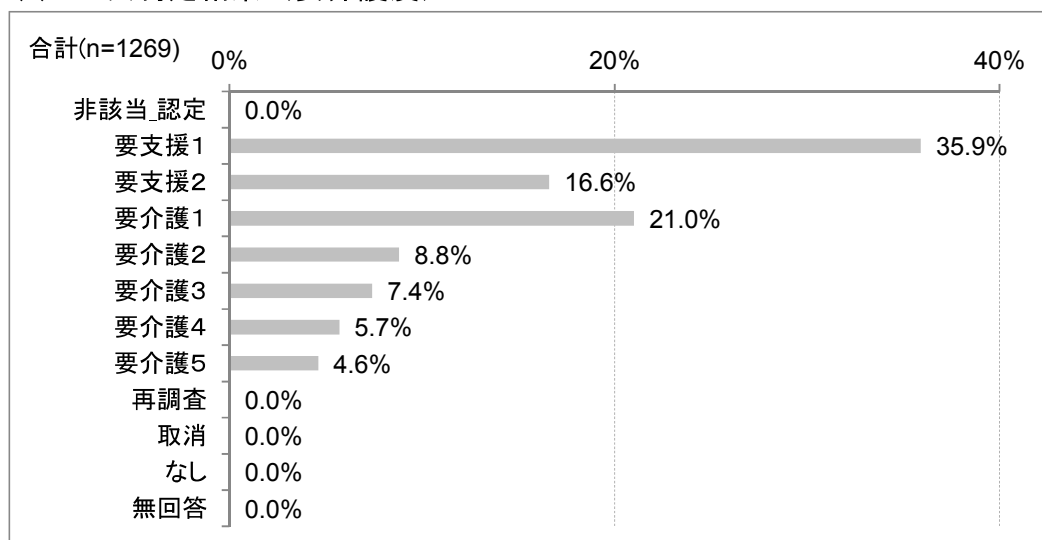
「男性」が30.7%、「女性」が69.3%となっています。

(3) 住んでいる所



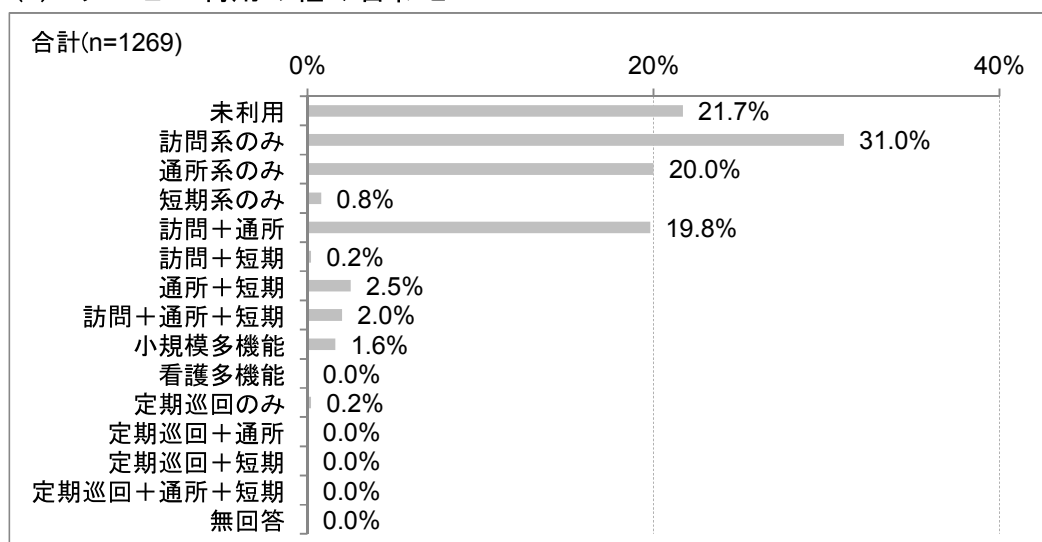
「精道」が31.9%で最も多く、次いで「西山手」が22.9%、「潮見」が22.7%となっています。

(4) 二次判定結果（要介護度）



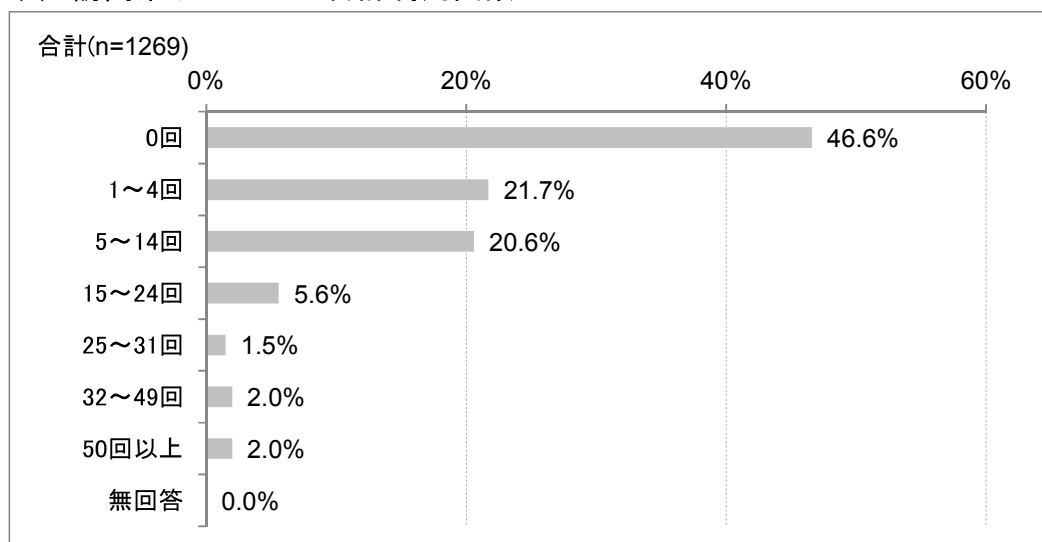
「要支援1」が35.9%で最も多く、次いで「要介護1」が21.0%、「要支援2」が16.6%となっています。

(5) サービス利用の組み合わせ



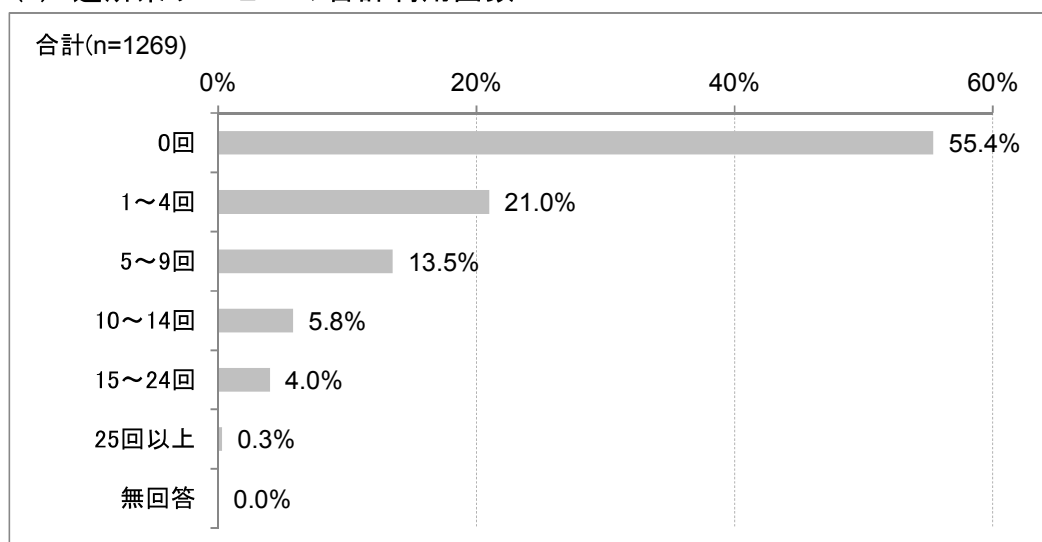
「訪問系のみ」が31.0%で最も多く、次いで「未利用」が21.7%、「通所系のみ」が20.0%となっています。

(6) 訪問系サービスの合計利用回数



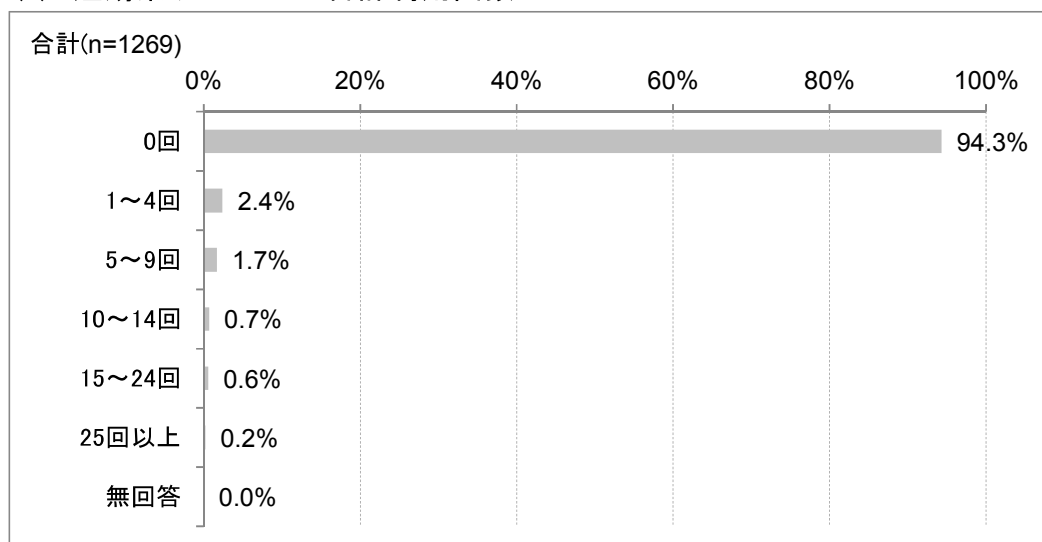
「0回」が46.6%で最も多く、次いで「1~4回」が21.7%、「5~14回」が20.6%となっています。

(7) 通所系サービスの合計利用回数



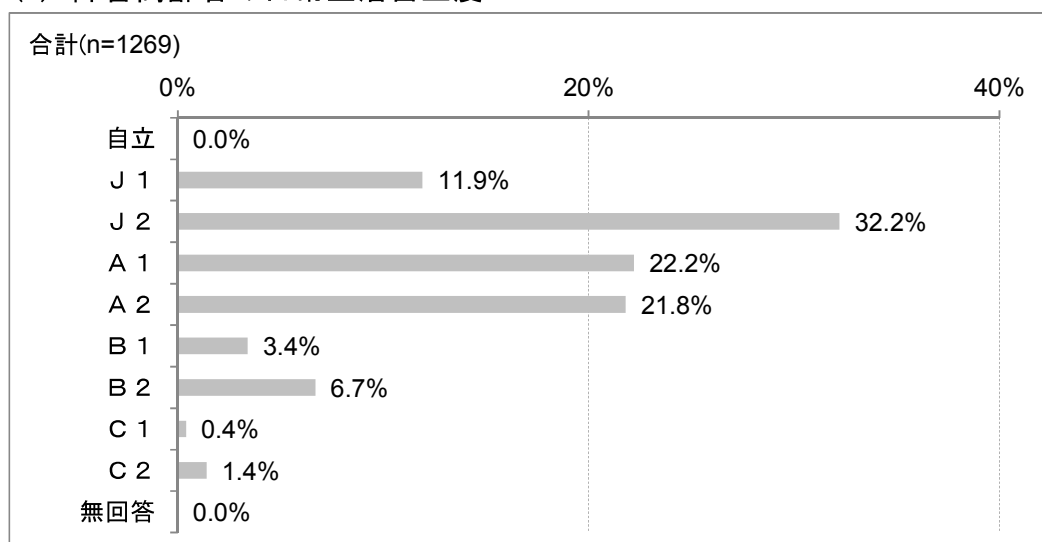
「0回」が55.4%で最も多く、次いで「1~4回」が21.0%、「5~9回」が13.5%となっています。

(8) 短期系サービスの合計利用回数



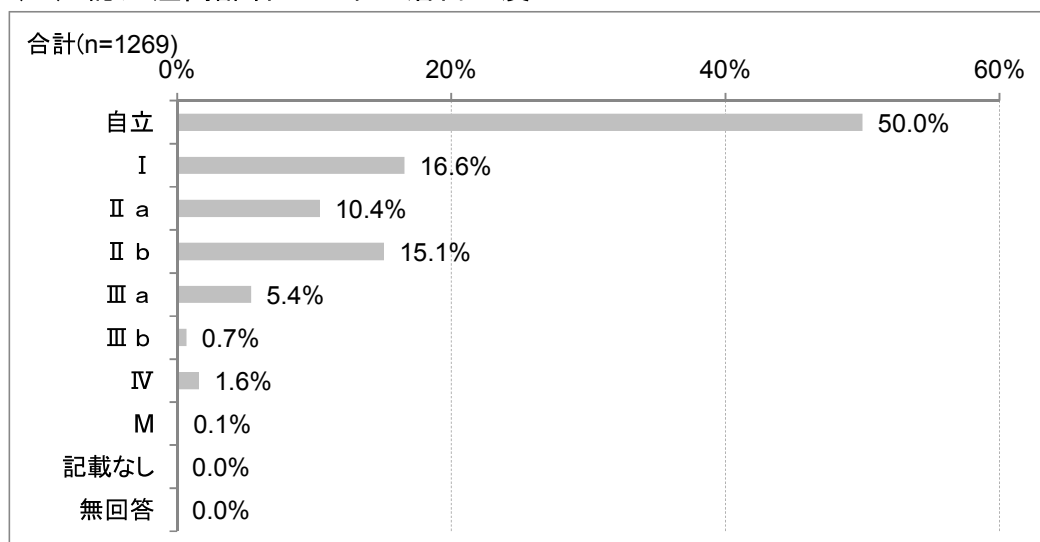
「0回」が94.3%で最も多く、次いで「1～4回」が2.4%、「5～9回」が1.7%となっています。

(9) 障害高齢者の日常生活自立度



「J2」が32.2%で最も多く、次いで「A1」が22.2%、「A2」が21.8%となっています。

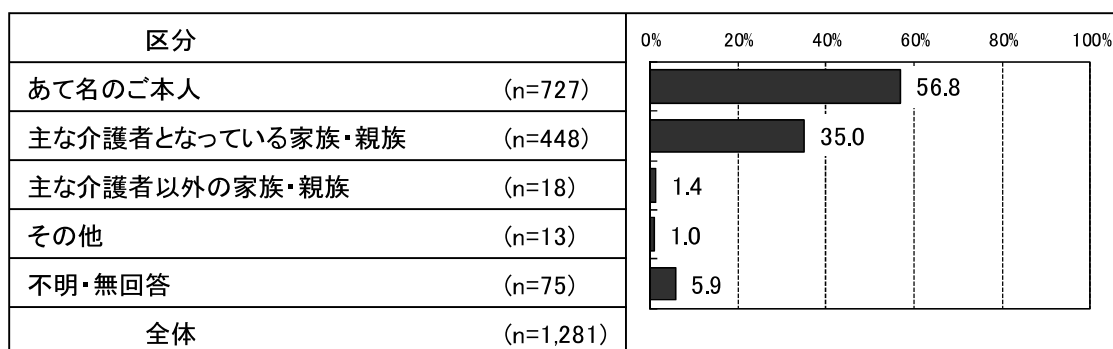
(10) 認知症高齢者の日常生活自立度



「自立」が50.0%で最も多く、次いで「I」が16.6%、「II B」が15.1%となっています。

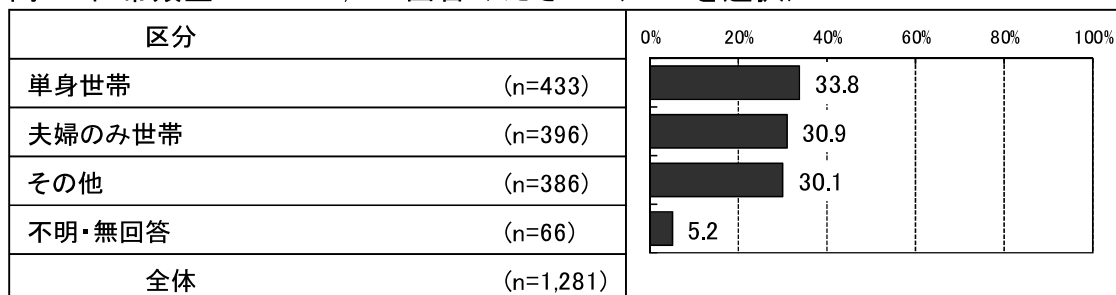
A票 あて名のご本人について、お伺いします

記入者



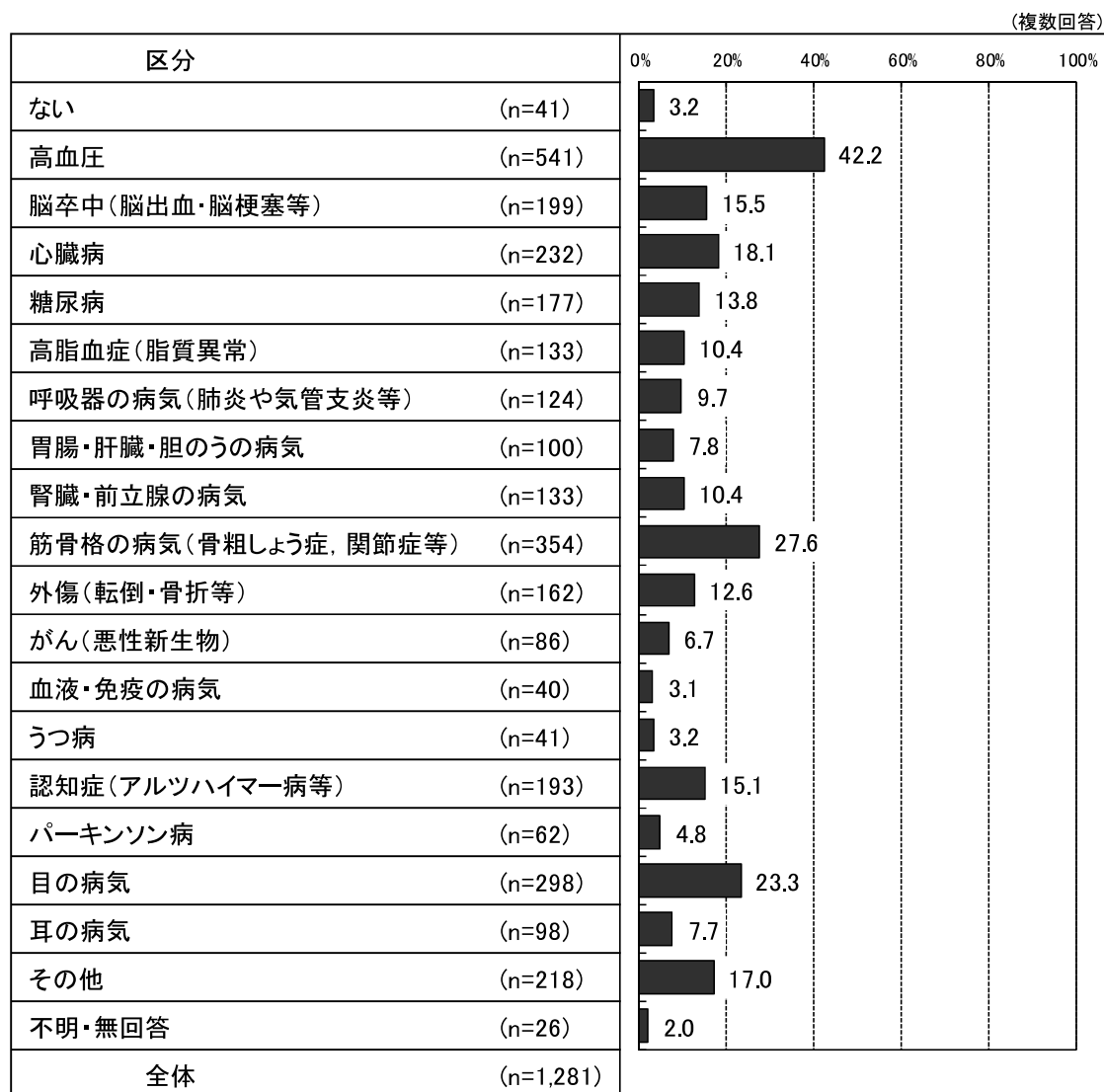
「あて名のご本人」が56.8%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が35.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が1.4%となっています。

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）



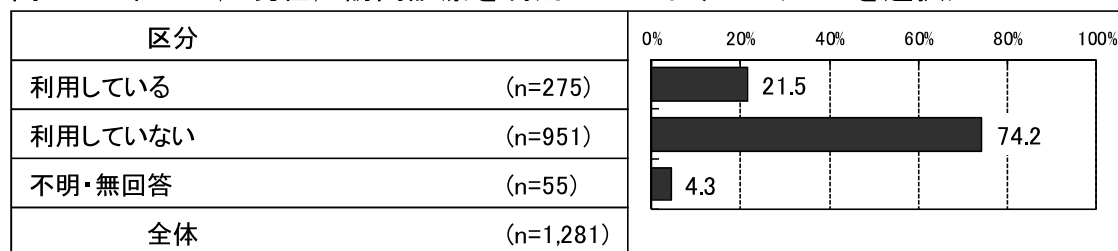
「単身世帯」が33.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が30.9%、「その他」が30.1%となっています。

問2 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（複数選択可）



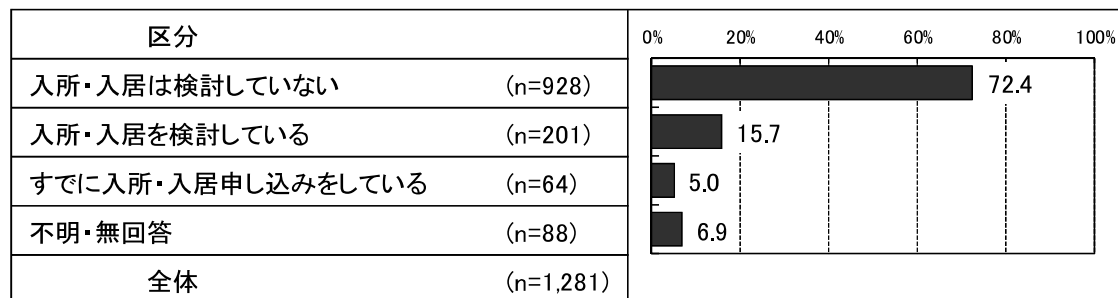
「高血圧」が42.2%で最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症, 関節症等)」が27.6%, 「目の病気」が23.3%となっています。

問3 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）



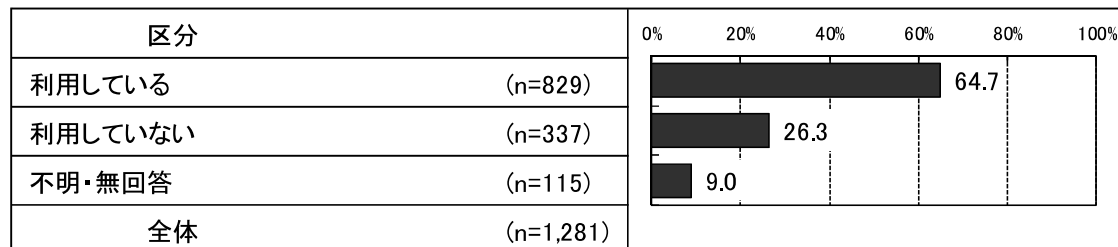
「利用していない」が74.2%、「利用している」が21.5%となっています。

問4 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください



「入所・入居は検討していない」が72.4%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.0%となっています。

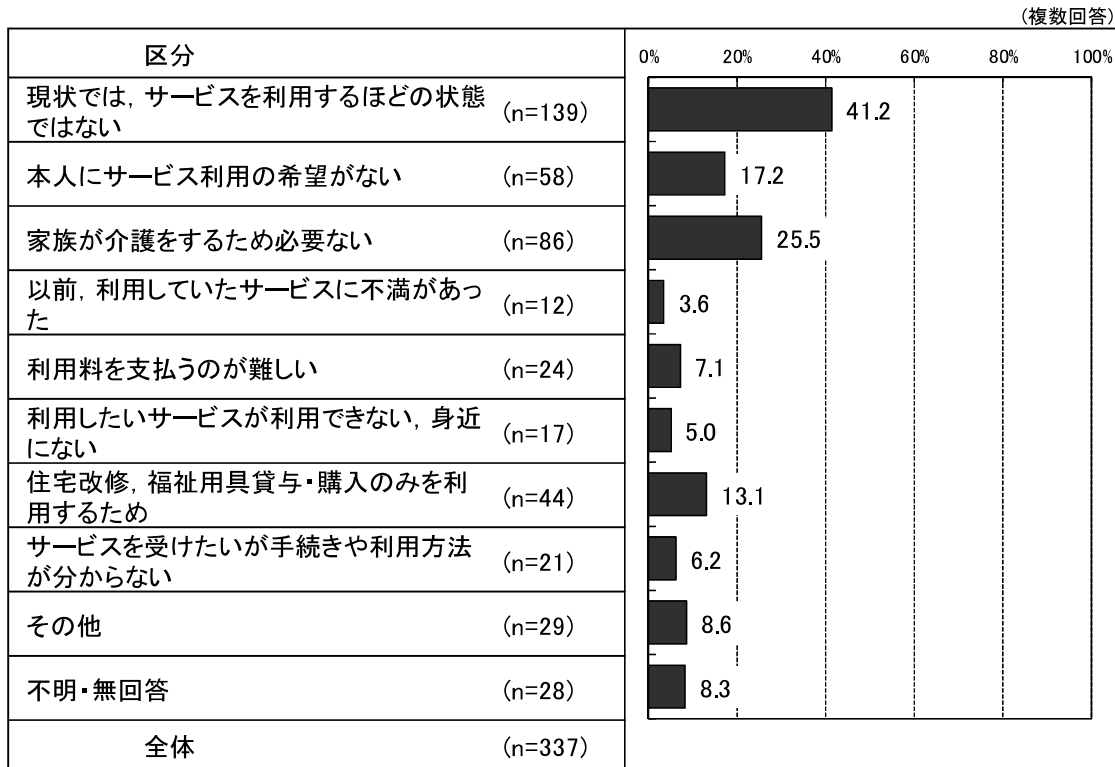
問5 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）



「利用している」が64.7%、「利用していない」が26.3%となっています。

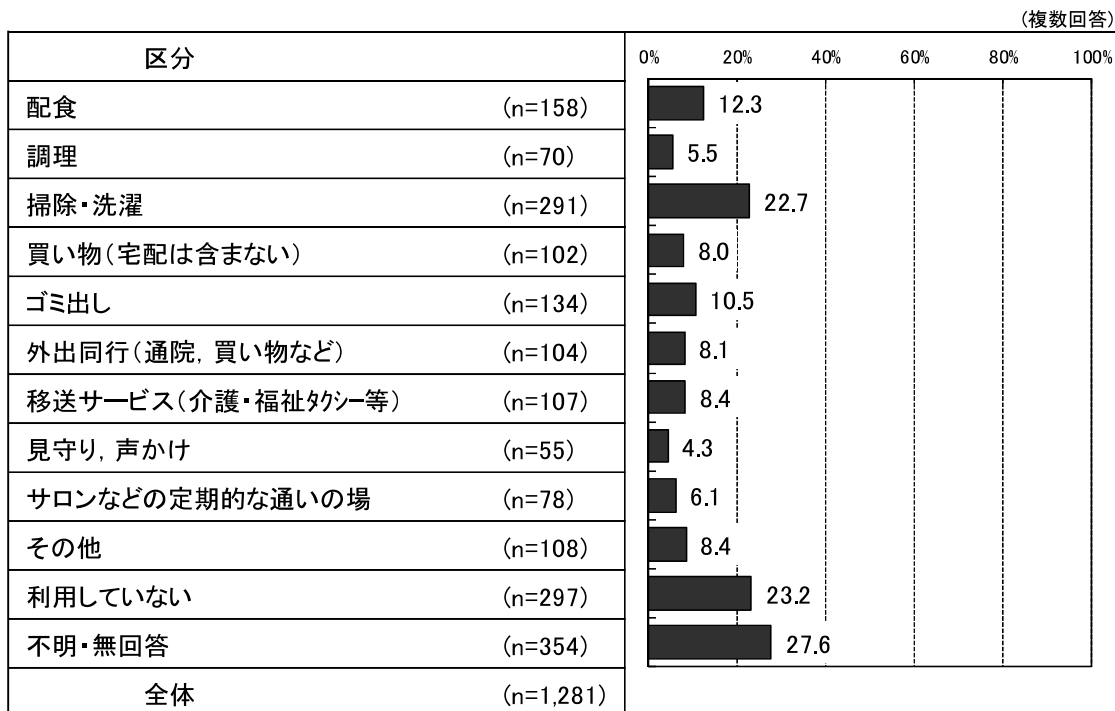
問6 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

※問5で「利用していない」と回答した方が回答



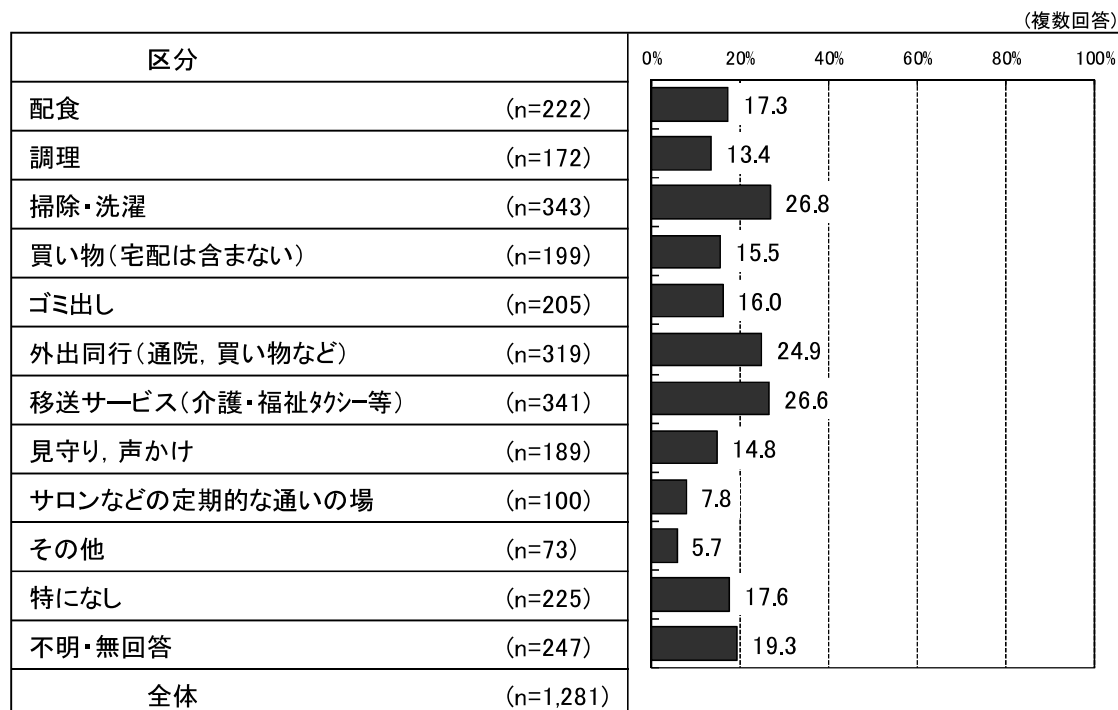
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 41.2%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 25.5%、「本人にサービス利用の希望がない」が 17.2%となっています。

問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）



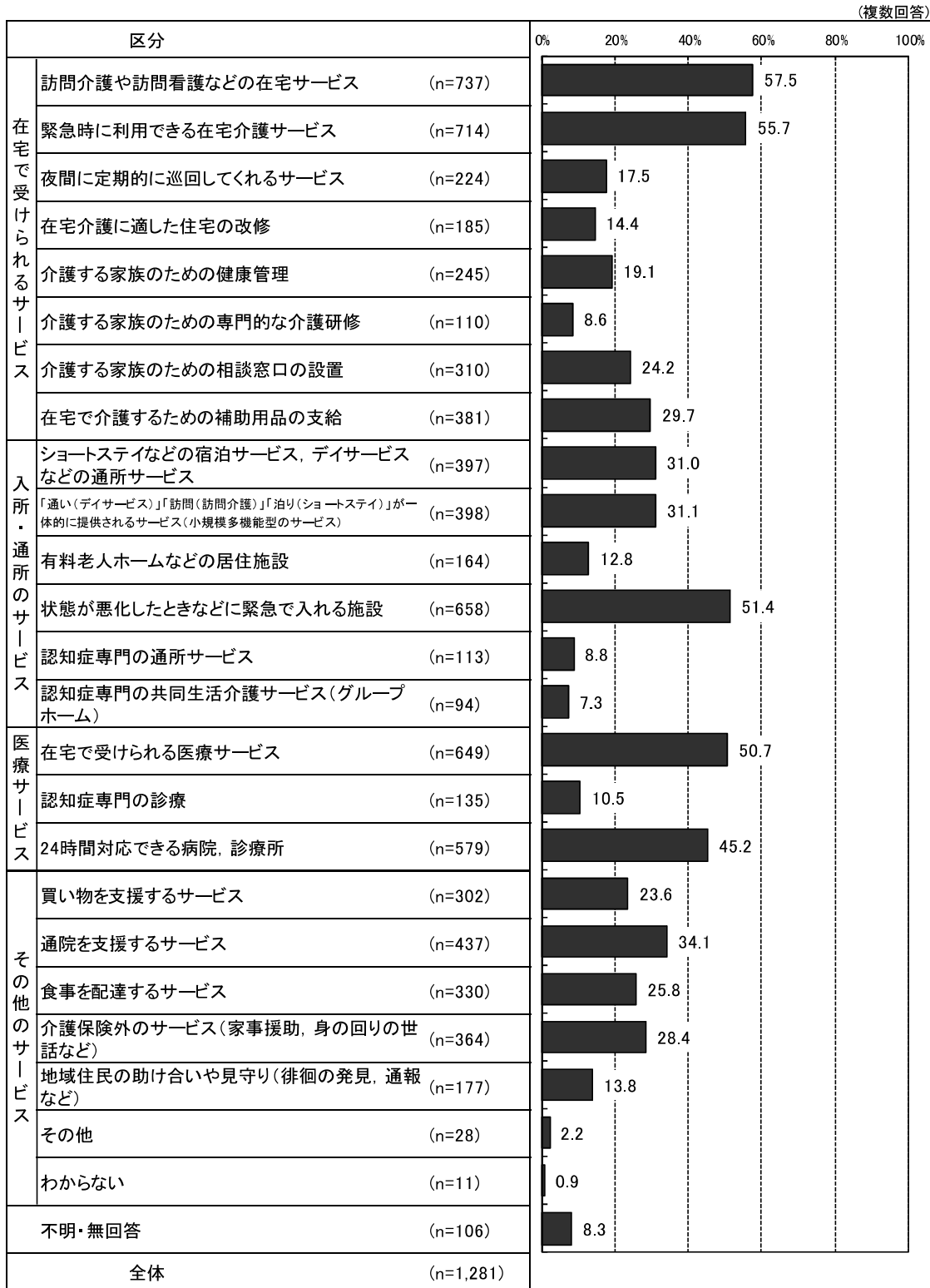
「利用していない」が 23.2%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が 22.7%、「配食」が 12.3%となっています。

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）



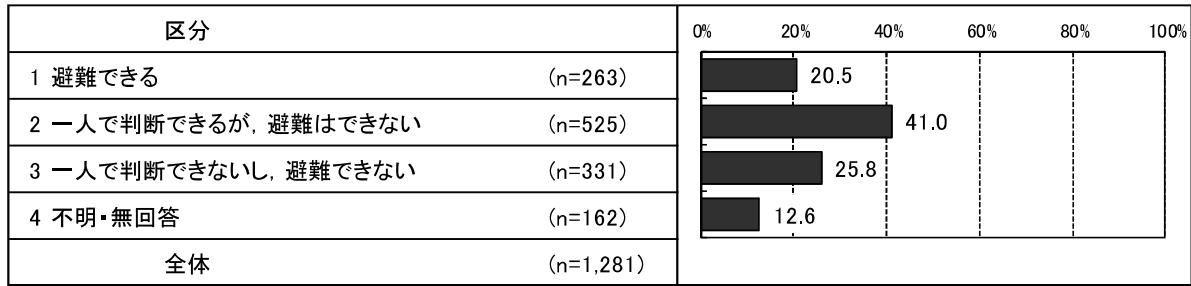
「掃除・洗濯」が 26.8%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 26.6%、「外出同行（通院，買い物など）」が 24.9%となっています。

問9 自分の身の回りのことができなくなったときに、どのようなサービスがあれば在宅生活を続けていくことができますか（複数選択可）



「訪問介護や訪問看護などの在宅サービス」が 57.5%で最も多く、次いで「緊急時に利用できる在宅介護サービス」が 55.7%、「状態が悪化したときなどに緊急で入れる施設」が 51.4%となっています。

問 10 ご本人は、災害時（台風や地震など）や火災などの緊急時に、一人で避難することができますか

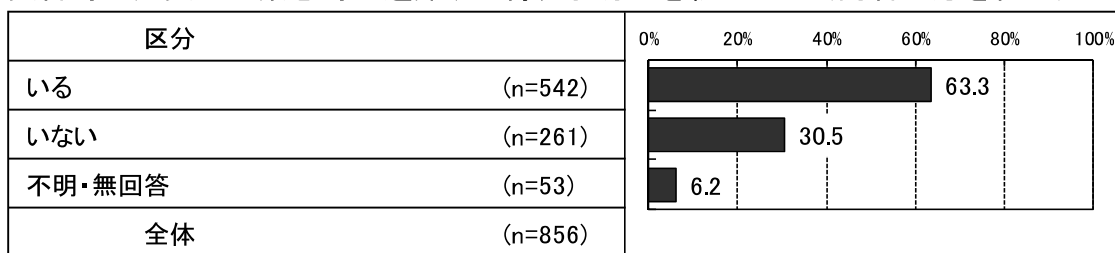


「一人で判断できるが、避難はできない」が 41.0%で最も多く、次いで「一人で判断できないし、避難できない」が 25.8%、「避難できる」が 20.5%となっています。

問 10 - 1 （緊急時に一人で避難ができない方）【問 10 で「2」または「3」と回答した方】
避難できない理由は何ですか。

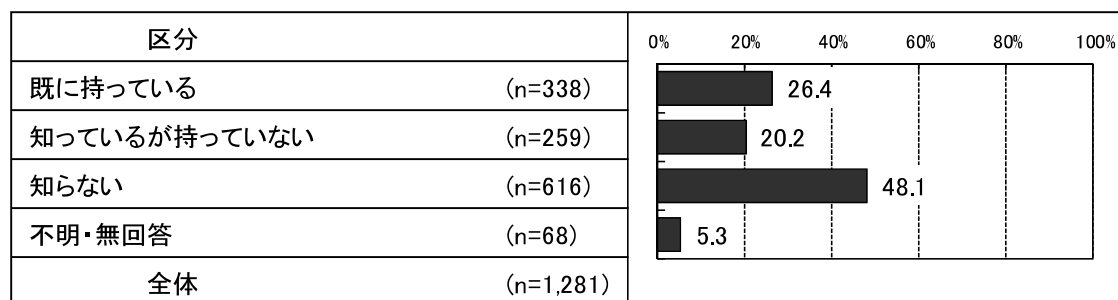
	主な回答
体力・身体的な理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩行困難 ● リウマチで足が動かない ● 目が見えないので、外出できない ● 腰関節が痛いため歩きにくい
配偶者の看病・介護	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症・寝たきり ● 配偶者が全盲だから放っておけない ● 夫婦共に足が悪いので歩けない
住居・住まいに起因する理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難先が遠い ● 急いで階段を下りられない、歩けない ● 歩くのが遅く家の玄関に段差があるので、一人では難しい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● いつ緊急時か本人が分からない

問 10 - 2 （緊急時に一人で避難ができない方）【問 10 で「2」または「3」と回答した方】
災害時や火災など緊急時に避難する際、手助けを頼める人（同居の方を含む）はいますか



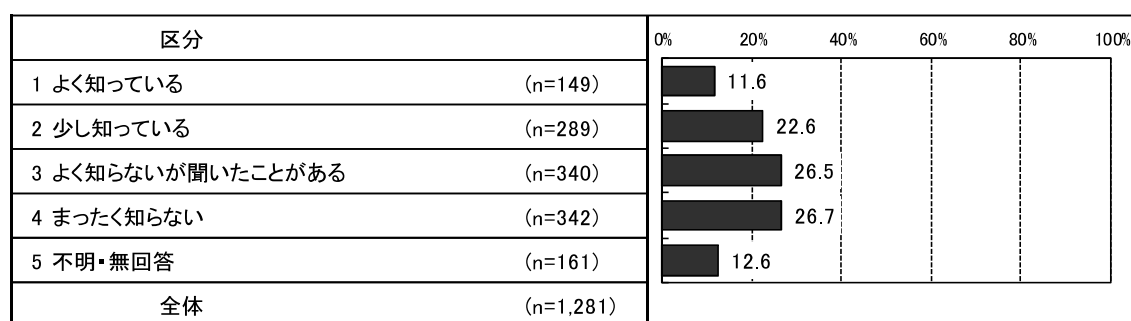
「いる」が 63.3%、「いない」が 30.5%となっています。

問 11 万が一の災害や急病に備え、医療情報を記入した用紙を筒状の容器に入れ、ご家庭にある冷蔵庫に収納する救急医療情報キットを知っていますか



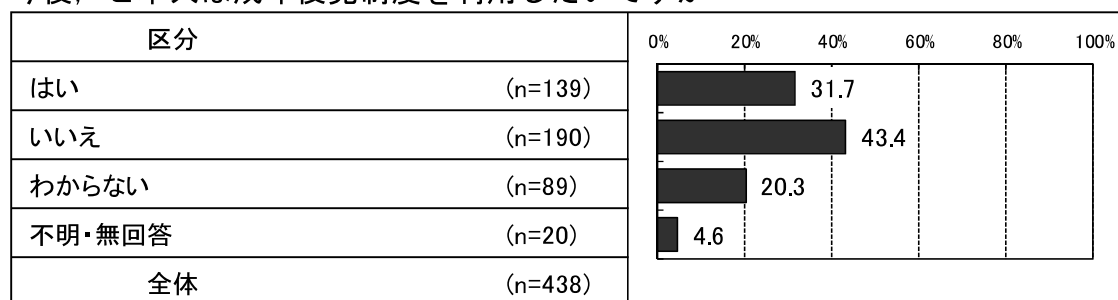
「知らない」が48.1%で最も多く、次いで「既に持っている」が26.4%、「知っているが持っていない」が20.2%となっています。

問 12 ご本人は成年後見制度を知っていますか



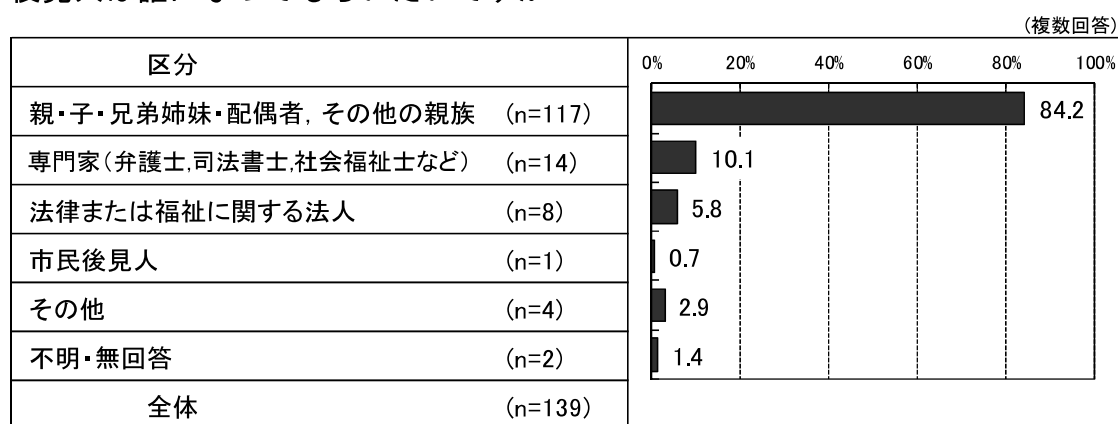
「まったく知らない」が26.7%で最も多く、次いで「よく知らないが聞いたことがある」が26.5%、「少し知っている」が22.6%となっています。

問 12 - 1 (成年後見制度を知っている方)【問 12 で「1」または「2」と回答した方】
今後、ご本人は成年後見制度を利用したいですか



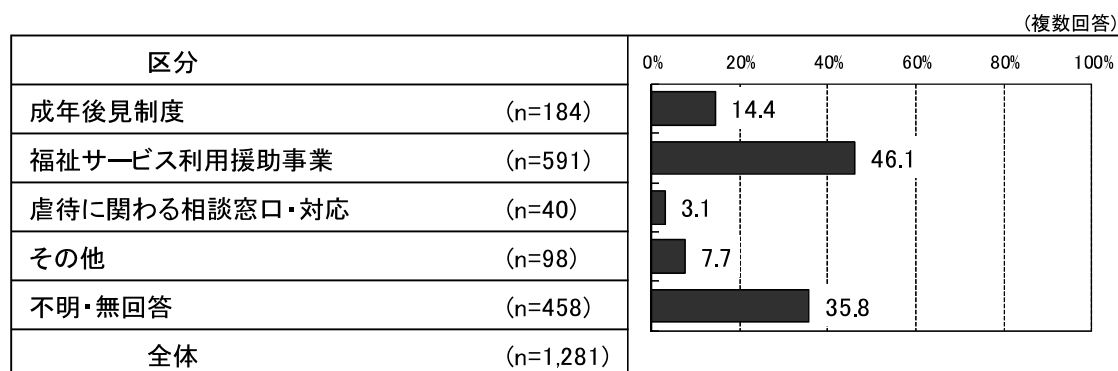
「いいえ」が43.4%で最も多く、次いで「はい」が31.7%、「わからない」が20.3%となっています。

問 12 - 2 (成年後見制度を利用したい方)【問 12-1 で「はい」と回答した方】
後見人は誰になってもらいたいですか



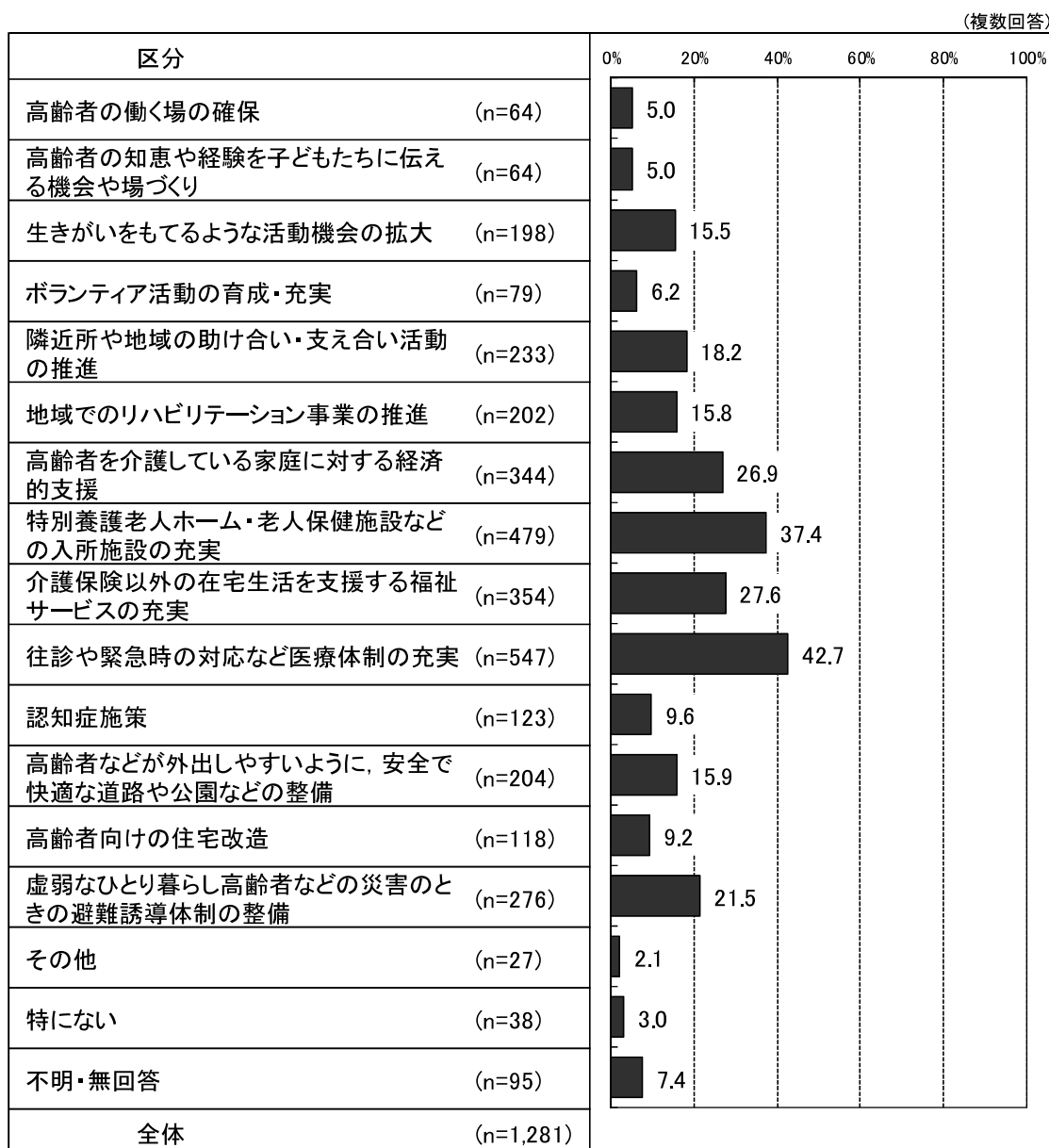
「親・子・兄弟姉妹・配偶者, その他の親族」が 84.2%で最も多く, 次いで「専門家(弁護士, 司法書士, 社会福祉士など)」が 10.1%, 「法律または福祉に関する法人」が 5.8%となっています。

問 13 ご本人は, 虐待をはじめ, 高齢者の権利擁護について, どのようなことを知りたいですか



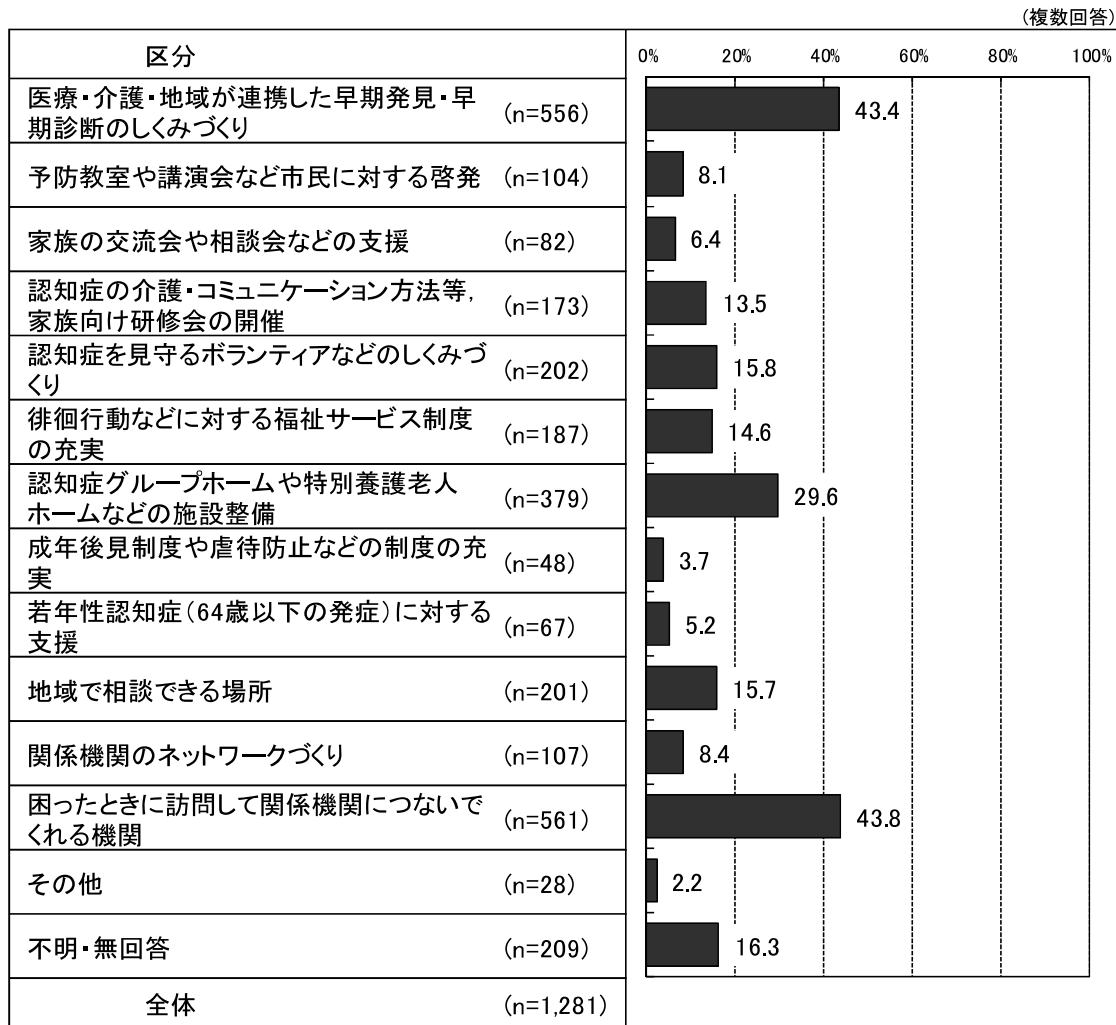
「福祉サービス利用援助事業」が 46.1%で最も多く, 次いで「成年後見制度」が 14.4%, 「その他」が 7.7%となっています。

問 14 高齢社会への対応として、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）



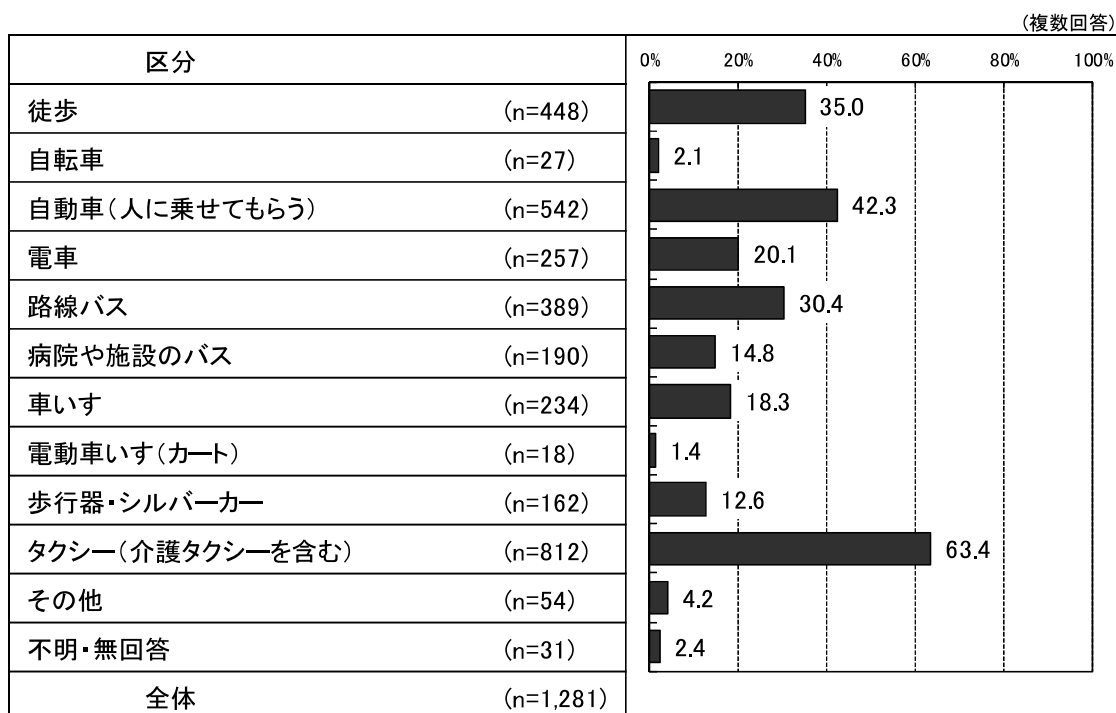
「往診や緊急時の対応など医療体制の充実」が 42.7%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム・老人保健施設などの入所施設の充実」が 37.4%、「介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実」が 27.6%となっています。

問 15 今後、認知症施策を進めていくうえで、市が力を入れるべきことは何ですか（主なもの3つまで）



「困ったときに訪問して関係機関につないでくれる機関」が 43.8%で最も多く、次いで「医療・介護・地域が連携した早期発見・早期診断のしくみづくり」が 43.4%、「認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備」が 29.6%となっています。

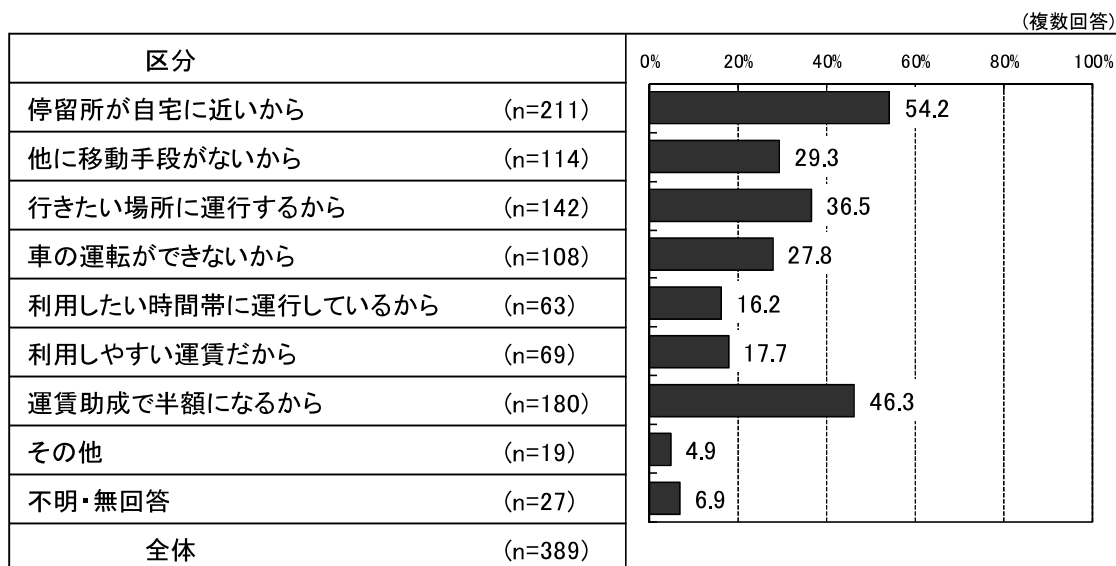
問 16 外出する際の移動手段は何ですか（複数選択可）



「タクシー（介護タクシーを含む）」が 63.4%で最も多く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」が 42.3%、「徒歩」が 35.0%となっています。

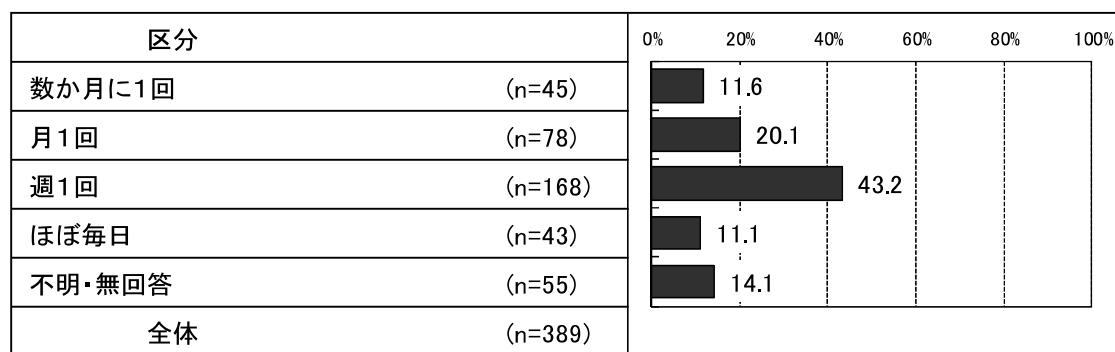
問 17 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方)

ご本人が路線バスを利用する主な理由は何ですか（複数選択可）



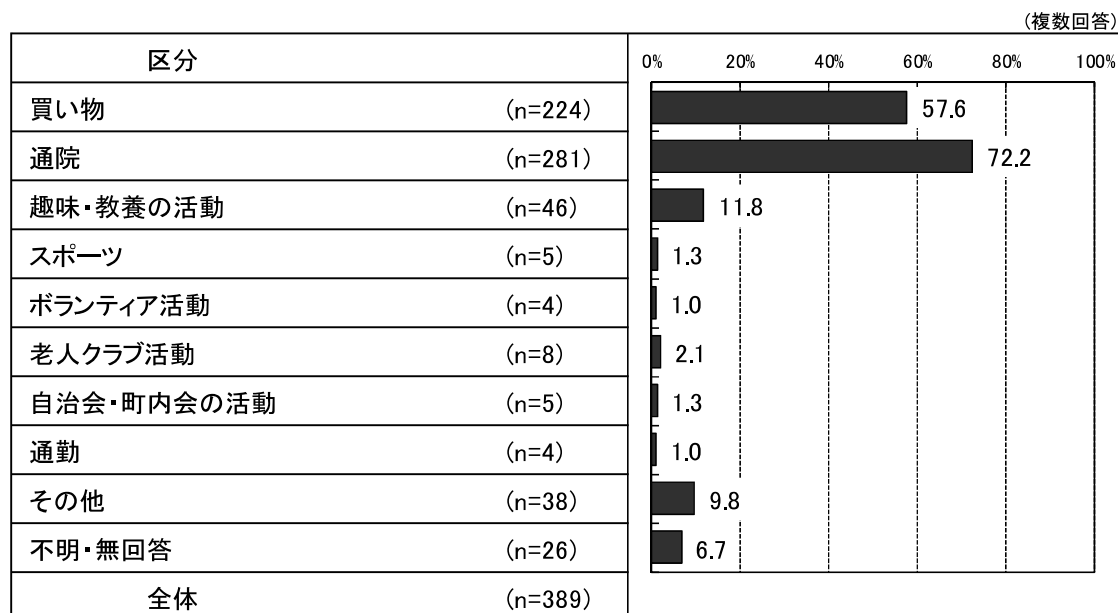
「停留所が自宅に近いから」が 54.2%で最も多く、次いで「運賃助成で半額になるから」が 46.3%、「行きたい場所に運行するから」が 36.5%となっています。

問 18 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方)
 ご本人の路線バスの利用回数は、どのくらいですか



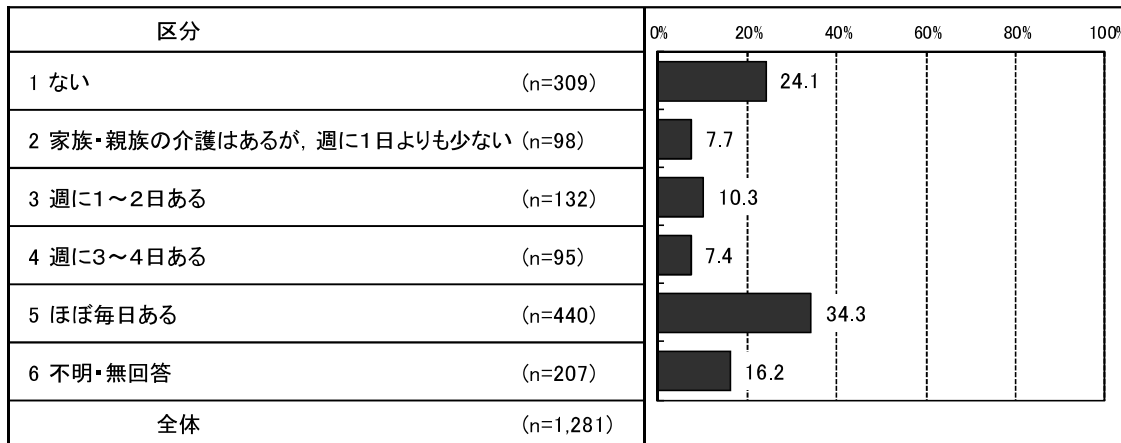
「週1回」が 43.2%で最も多く、次いで「月1回」が 20.1%、「数か月に1回」が 11.6%となっています。

問 19 (問 16 で「5. 路線バス」と回答した方)
 ご本人が路線バスを利用する主な目的は何ですか (複数選択可)



「通院」が 72.2%で最も多く、次いで「買い物」が 57.6%、「趣味・教養の活動」が 11.8%となっています。

問 20 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

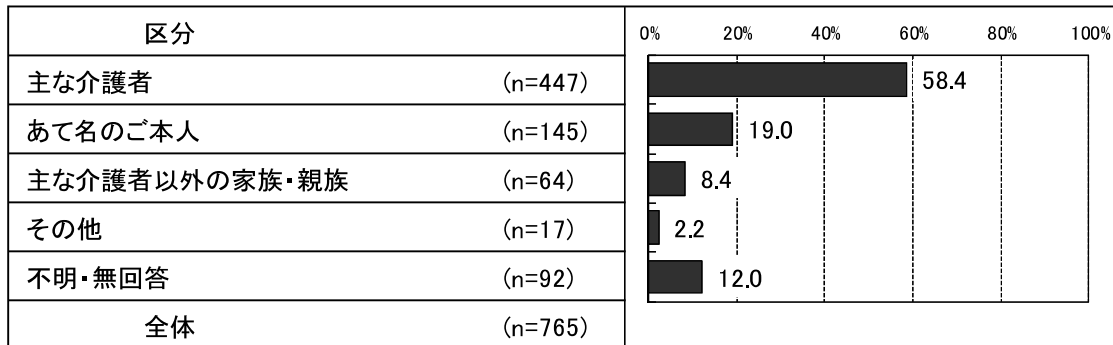


「ほぼ毎日ある」が 34.3%で最も多く、次いで「ない」が 24.1%、「週に1～2日ある」が 10.3%となっています。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

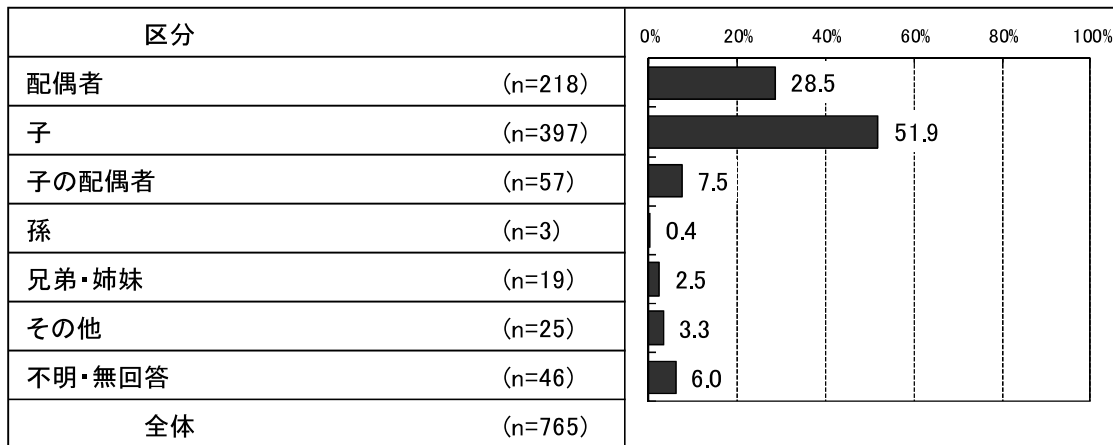
※B票は、A票問20で「2～5」を回答した方(765人)を対象にしています。

記入者



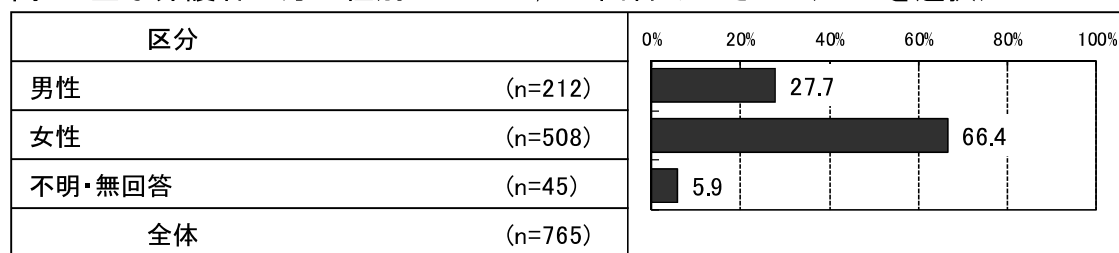
「主な介護者」が 58.4%で最も多く、次いで「あて名のご本人」が 19.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が 8.4%となっています。

問 1 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)



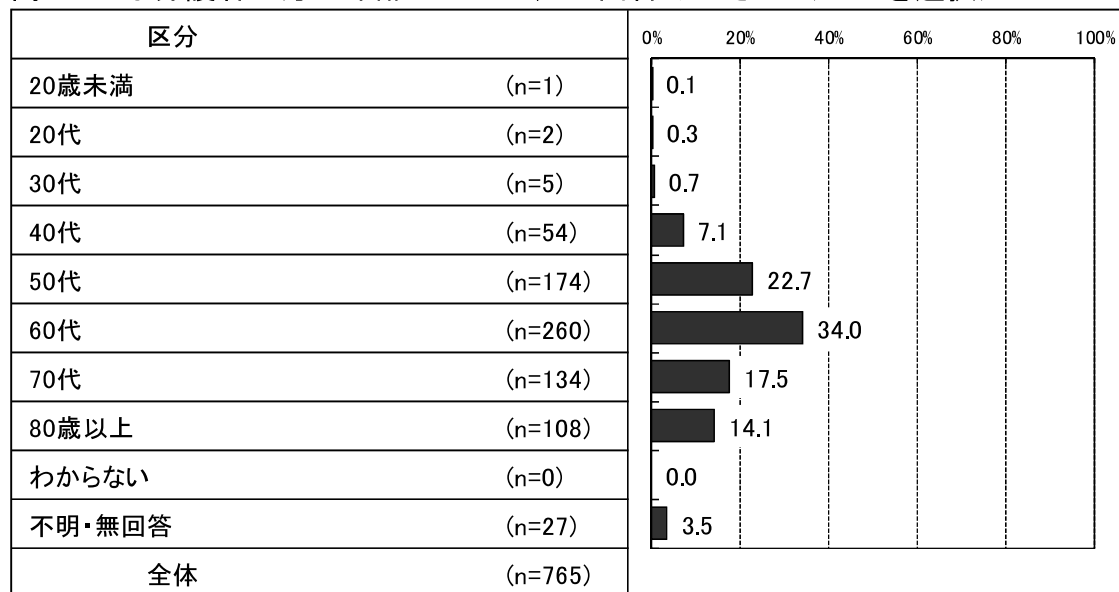
「子」が 51.9%で最も多く、次いで「配偶者」が 28.5%、「子の配偶者」が 7.5%となっています。

問2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）



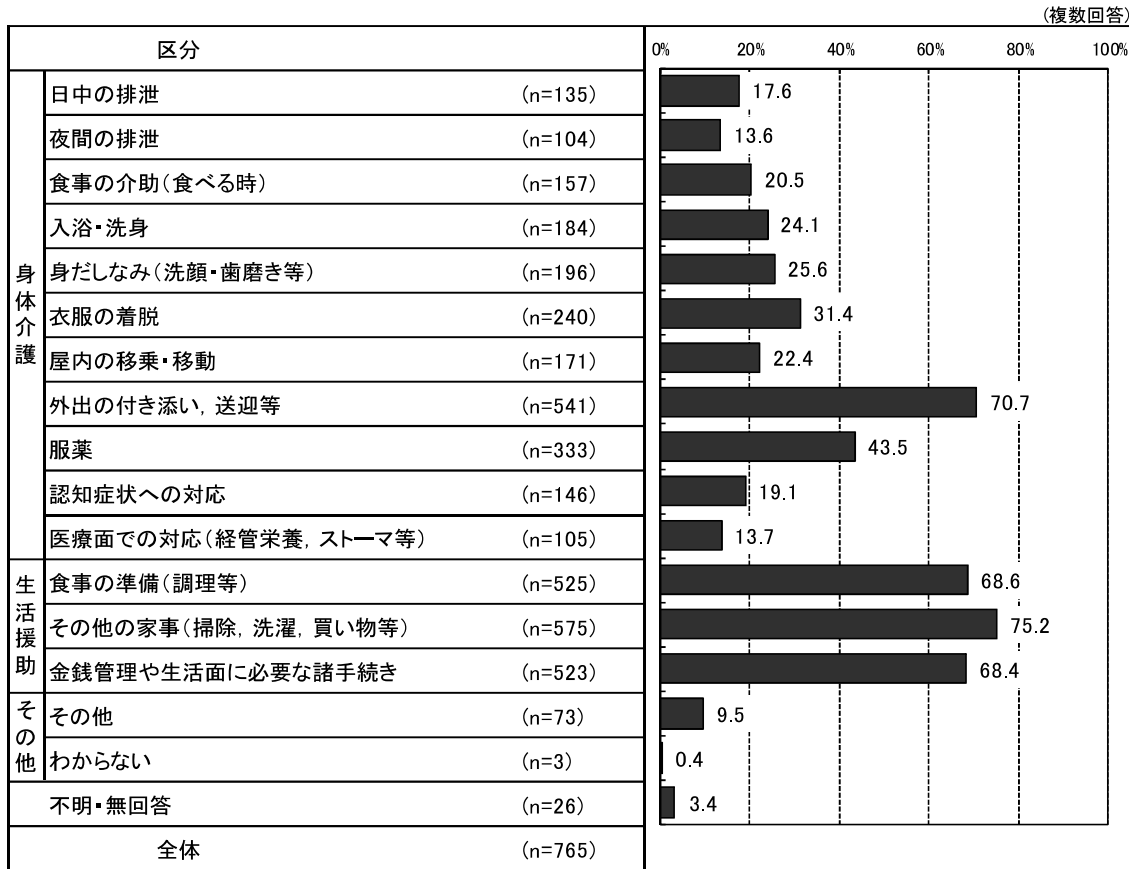
「女性」が66.4%、「男性」が27.7%となっています。

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）



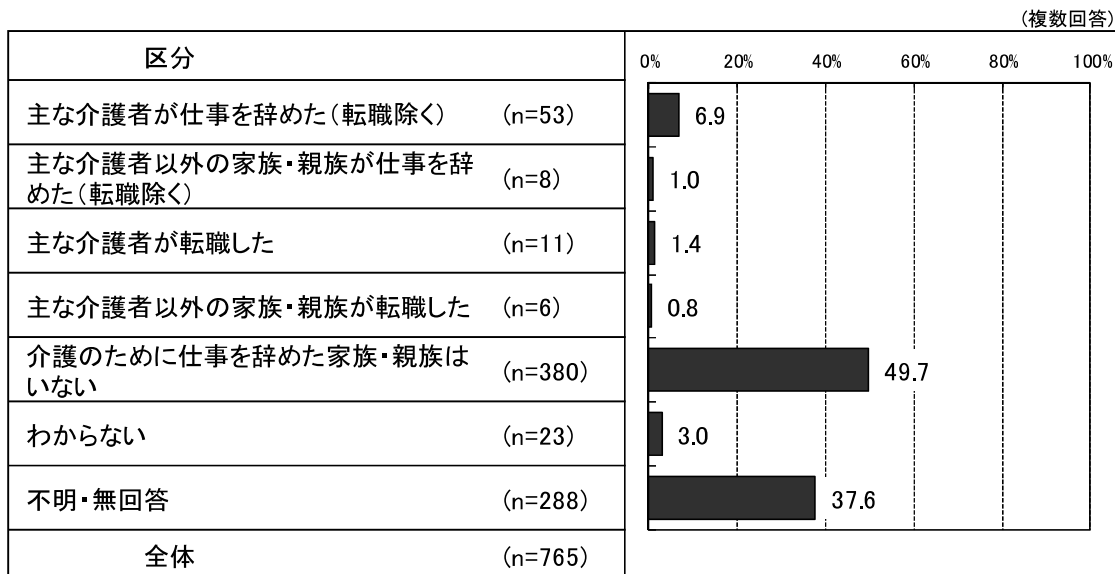
「60代」が34.0%で最も多く、次いで「50代」が22.7%、「70代」が17.5%となっています。

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)



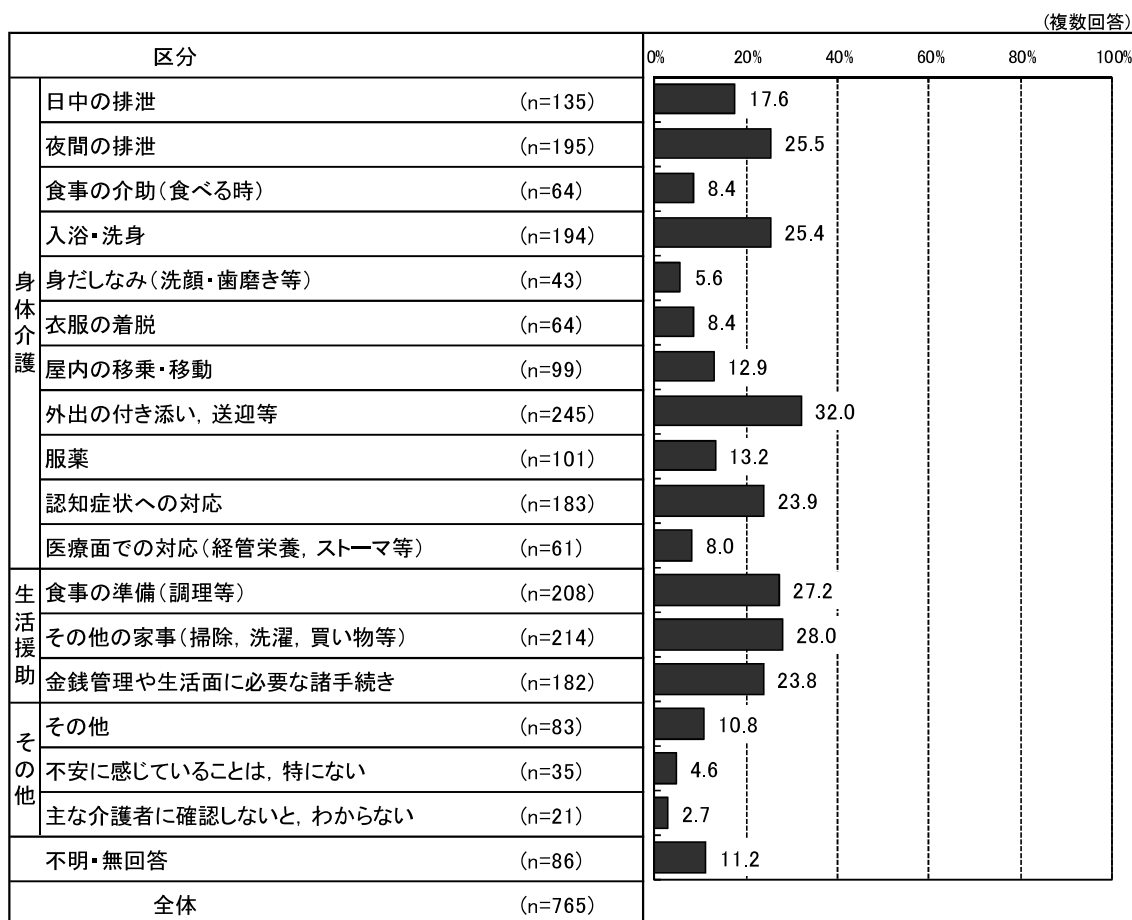
「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が75.2%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が70.7%、「食事の準備(調理等)」が68.6%となっています。

問5 ご家族やご親族の中で、あて名のご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)



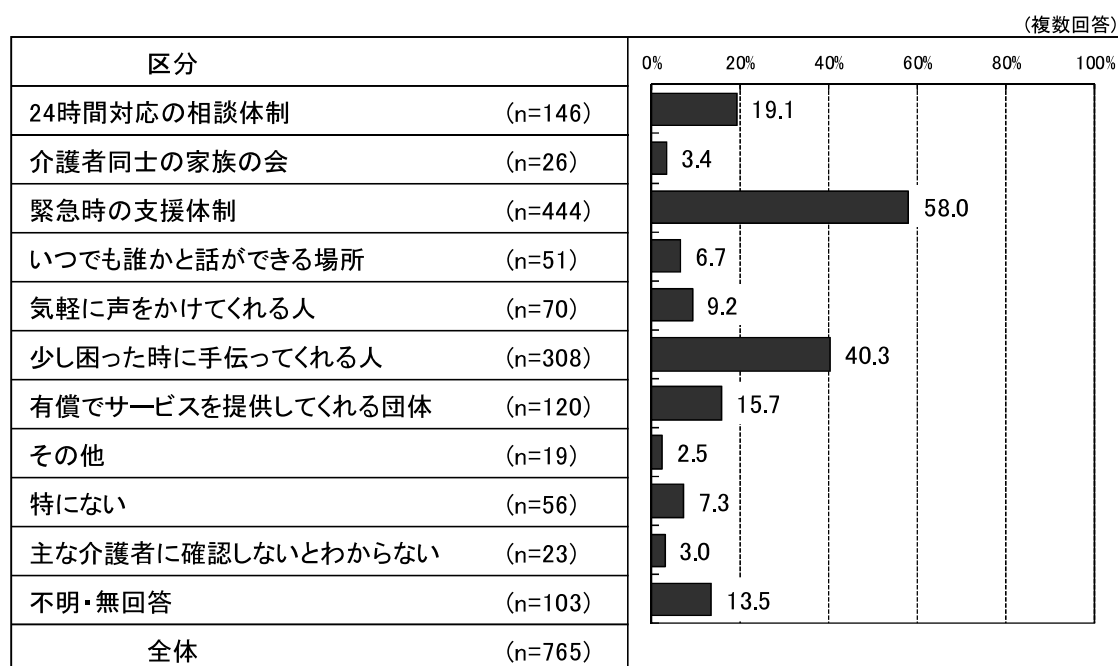
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が49.7%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が6.9%、「わからない」が3.0%となっています。

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）



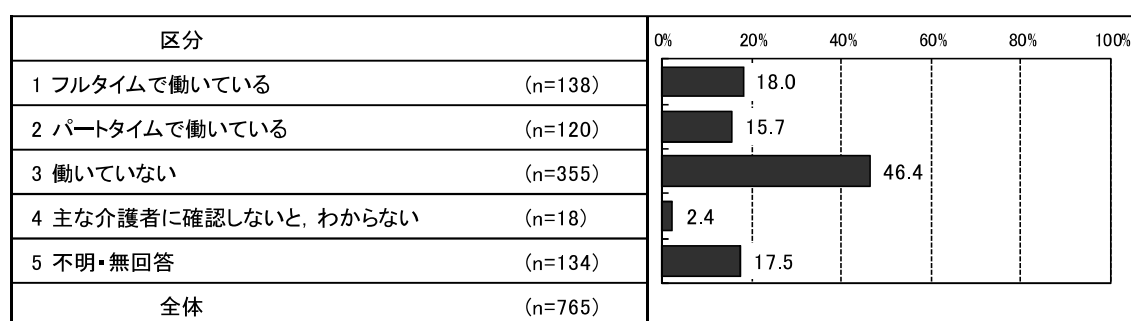
「外出の付き添い、送迎等」が 32.0%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除，洗濯，買い物等）」が 28.0%，「食事の準備（調理等）」が 27.2%となっています。

問7 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が必要と感じる地域での支援について、ご回答ください(複数選択可)



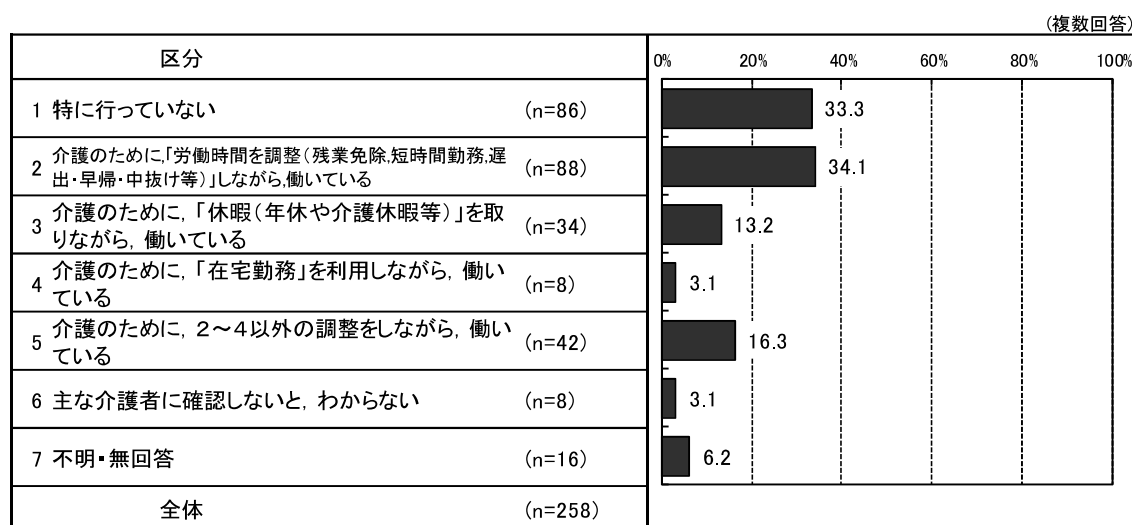
「緊急時の支援体制」が58.0%で最も多く、次いで「少し困った時に手伝ってくれる人」が40.3%、「24時間対応の相談体制」が19.1%となっています。

問8 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)



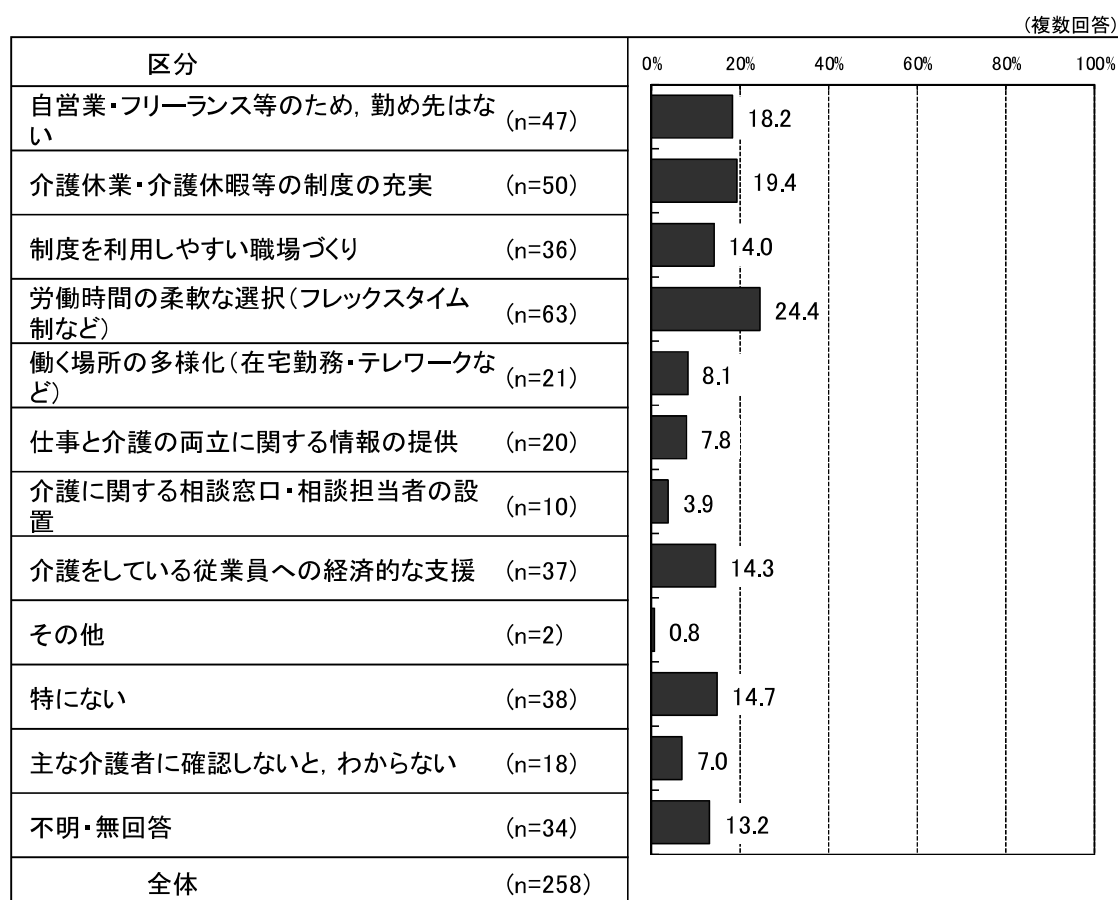
「働いていない」が46.4%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が18.0%、「パートタイムで働いている」が15.7%となっています。

問9（問8で「1.」「2.」と回答した方）主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）



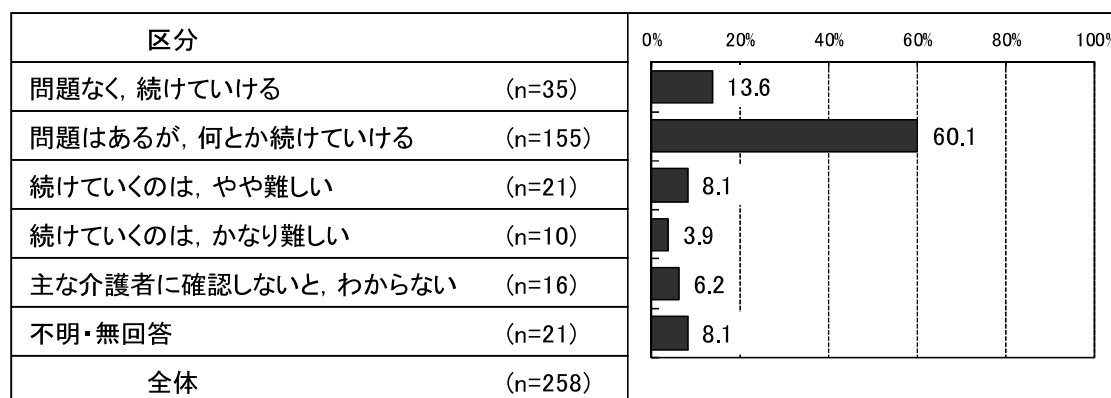
「介護のために、「労働時間を調整（残業免除，短時間勤務，遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が34.1%で最も多く、次いで「特に行っていない」が33.3%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が16.3%となっています。

問10（問8で「1.」「2.」と回答した方）主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）



「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.4%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が19.4%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が18.2%となっています。

問11（問8で「1.」「2.」と回答した方）主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）



「問題はあるが、何とか続けていける」が60.1%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が13.6%、「続けていくのは、やや難しい」が8.1%となっています。